

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆外貨準備高2カ月連続増加 2月末、米国債の評価額上昇

・財務省が発表した2月末の外貨準備高は1兆2532億ドル(約185兆円)。1月末と比べて126億ドル(1.0%)増えた。増加は2カ月連続。保有債券の利息収入が増えたほか、米長期金利の低下で保有する米国債の時価評価額が上昇。外貨準備高のうち外国債券などの証券は9331億ドルと116億ドル(1.3%)増加。

◆IoT機器のセキュリティ認定制度、3月に運用開始

・ネットにつながる「IoT」機器のセキュリティ対策を認定する制度が3月に始まる。当初は家庭用の通信機器などが満たすべき最低限の要件を定めた。認定を受けた製品はパッケージに専用のラベルを表示できる。2025年度以降はより高度な対策についても基準を定め、政府や重要インフラ企業が機器導入時の判断に使えるようにする。

◆災害ごみ「置き場不足」6割 政令市と東京23区、日経調査

・災害時に発生する廃棄物の仮置き場を政令市と東京23区の半数超が十分に確保していないことが分かった。収集など初動対応が遅れれば衛生面の悪化や復興の停滞につながる。自治体が広域連携して処理する体制が必要になる。郊外まで宅地開発が進む都市部では空き地が少なく近隣住民の反発などで調整が難航している。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆「住宅省エネ2025キャンペーン」公式サイト開設

・国土交通省・経済産業省・環境省の3省連携による「住宅省エネ2025キャンペーン」総合ウェブサイトが開設。キャンペーンの総合案内や住宅事業者向けの「住宅省エネポータル」、各事業へのリンク、問い合わせ窓口、更新情報など掲載。補助金を申請するための事業者登録や補助金の受け取りなども、「住宅省エネポータル」を通じて行う。

◆環境省、窓断熱リフォームのチラシ作成 窓リノベ事業での活用を

・環境省は窓断熱リフォームのメリットを紹介するチラシ(PDFデータ)を作成して公開。チラシは「戸建住宅編」、譲集合住宅編、「賃貸集合住宅編」の3種類。施工事業者に活用を呼び掛けている。2025年は断熱窓に対する集中支援期間(3年間)の最終年度。「先進的窓リノベ2025事業」や断熱窓への改修について周知を図る。

◆積水ハウス、売上4兆円超で過去最高を更新 MDC社買収効果も

・積水ハウスが発表した2025年1月期連結決算(24年2月～25年1月)は、売上高が前期比30.6%増の4兆585億8300万円、営業利益は同22.3%増の3313億6600万円、経常利益は同12.4%増の3016億2700万円、純利益は同7.6%増の2177億500万円となり、いずれも過去最高を更新。

《 注目商品 》

■大建工業、環境配慮のマルチング材「Deco(デコ)マルチ」

・国産材を100%使用したマルチング用途の木質ファイバー。地表面に敷き込むことで、庭や外構のデザイン性を損なうことなく雑草を予防することが可能。原料には製材として使用できない端材部分を使用、1袋あたり約6kgのCO2炭素貯蔵量、炭素貯蔵にも貢献。



■ボッシュ、ハイパワーコードレスセーバーソー「GSA 18V-32-2」

・コード式1300WのハイパワーBITURBOシリーズにコードレスセーバーソー「GSA 18V-32-2」を追加。キックバックコントロールは切断時のブレードの噛み込みによる危険を回避し、バイブレーションコントロールは作業時の振動による疲労を軽減。



■LIXIL、新コンセプトの次世代キッチン「ULキッチン」

・キッチンを構成する[デザイン]、[セレクト]、[スペック]の3要素を徹底的に見直し、最適・最小化することで、誰もが気軽に取り扱うことができるキッチンを実現。最適を追求して最少にたどり着いた、次世代のウルトラライト(Ultra Light)キッチン。

